

www.jwing.net
mail@jwing.net

グアム特集 2023年 秋・冬号 Guam 2023 Fall/Winter



Hafa
Adai



I love
GUAM

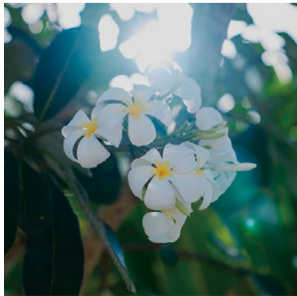


#HereWeGuam

さあ、3時間半で行けるアメリカンリゾートへ。



BIBA
GUAM



Si Yuos
Maase



FY24は団体旅行・教育旅行を積極的に誘致 グアムの優れた特徴を改めてアピール

日本人の出入国に関する規制が撤廃されてから初めて迎えた2023年の夏。5月下旬にグアムを襲った台風の影響による出遅れが懸念されていたが、特に8月はグアムにとって素晴らしい月となった。秋以降も団体旅行の予約が増えている状況で、グアムの新しい会計年度がスタート。グアム政府観光局 (GVB) 日本オフィスは今後、どのような活動で旅行者増を目指すのか。秋葉祐輔 エグゼクティブ・ディレクターに話をうかがった。



グアム政府観光局 (GVB)
秋葉祐輔 エグゼクティブ・ディレクター

FY24は地方3空港の底上げと 団体・教育旅行の拡充に注力

グアムの会計年度 (FY) は10月からスタートする。今年度 (FY24) の予算規模は、ほぼ例年どおりの額を確保した。韓国市場の伸びはあるものの、GVB本局や現地企業は、旅行者1人あたりの消費額が大きく宿泊日数も長いという特徴のある日本市場を重視する姿勢が変わりはなく、日本市場への投資をやめない構えだ。

そのFY24の旅行業界向けの大方針としては、東京 (成田) 以外の3空港でのプロモーション強化とMICEと教育旅行の獲得がある。成田は満席状態の日が多く、GVBでは「動きの早い東京はリカバリーが見えてきた」(秋葉氏) と判断。名古屋、大阪、福岡の地方3空港は、現状ではロードファクターが高い状態とは言えないため、GVBはFY24でこの3地域を重点的にサポートしていく。地方に行けば行くほど、「まだマスクをしなければいけないのか?」「海外旅行に行ったら隣人に何か言われるのではないかと心配する傾向があるようだが、GVBはこの消費者のマインドを切り崩し、3空港の底上げに本腰を入れる。

特に重視するのが、現在就航している航空会社のロードファクターを上げることだ。これを最優先事項として掲げ、3地域でのプロモーション活動に取り組む。ロードファクターを上げることで需要があることを示せば、旅行会社にチャーター便を利用した商品の造成を働きかけたり、他の航空会社には新規就航を働きかけたりしていく。

団体旅行については、すでに予約が増えている。来年からはこの動きが本格化することを見越し、グアムを選んでもらえるように、昨年度も行った団体旅行向けインセンティブを実施する計画だ。

また修学旅行をはじめとする教育旅行の需要も増えることが期待される。そのためGVBは、教員にグアムを知ってもらうための活動を視野に入れている。教員に納得してもらうためには、これまでの歴史教育だけでなく、SDGs関連のプログラムが必要とされる。今後は専門家に協力を仰ぎ、教員向けにグアムのSDGs関連の教科書的な冊子を作ることも検討している。この教科書作成が実現すれば、「旅行会社の教育旅行営業担当者に配布し、修学旅行のプレゼンで活用してほしい」(秋葉氏) という。

全面に出すのは「グアムのもつ優位性」 「当たり前」の情報発信の徹底も

GVBでは、一般向け・及び業界向けのプロモーションの双方において、グアムの基本情報の発信を重視する。9月に静岡で開催したセミナーでは、「日本から約3時間半」、「日本から最も近い安心安全なアメリカンリゾート」、「365日泳げる常夏の島」、「空港から中心部まで車で15分」などという、ごく基本的な情報を説明した。開催前には、あまりにも基本的な情報を旅行会社のスタッフに説明する必要があるのか、という疑問もあったが、終わってみると非常に好意的な反応が得られたという。

静岡のセミナー会場には旅行会社の若手スタッフもいたそうで、秋葉氏は「コロナ禍での入社組は、まだ仕事で海外に

行っていない人も多いのではないかと。静岡のセミナーでは『グアムの基本くらい知っているだろう』という先入観を捨てて、基本情報の発信を徹底する重要性をあらためて実感した」と話す。旅行業界向けに基礎情報を発信し続けることも、コロナ禍からのリカバリー策の1つと言えるかもしれない。

また、さらにSITについてもこれまで以上に強く打ち出していく。特にウェディングやビーチ、ゴルフといった、グアムの強みについては、コロナ前のように当たり前前のプロモーションを当たり前前に展開していく考えだ。

旅行者の利便性向上と 現地企業への経済効果を狙う新たな試み

この夏には、GVBが実施した「GO GO! GUAM SUMMERキャンペーン」で利用できるクーポンとして、キャンペーン実施期間中に指定の旅行会社でグアム旅行商品を購入した人の中から、5000人限定でグアム現地でのみ利用できる20ドル分のクーポンをプレゼントする「GO GO! GUAM PAY」を実施した。これは全国旅行支援の「region PAY」を海外で利用できるようにした初めてのケースとして注目を集めた。

リリースのタイミングの遅れや、実際の利用率などさまざまな課題が浮き彫りになったものの、GVB本局は、旅行者だけが得をする従来のサポートと異なり、現地企業に利益をもたらすこの新しい取

り組みを高く評価。今後はGVB日本オフィスがGO GO! GUAM PAYに参加した旅行会社からヒアリングを行って課題を整理し、「来年以降に向けて、さらなる発展版を開発していく」(秋葉氏) という。

姉妹都市との双方向交流の拡大と 今までになかった客層への期待

グアムは、姉妹都市関係にある日本の市町村との双方向交流の復活に向けても動き出している。恋人岬という共通項から姉妹都市となっている静岡県土肥町や新潟県柏崎市には、すでに市役所・町役場の担当者を訪問。GVBでは姉妹都市との関係を重視し、学生の交流などについても実現に向けて少しずつ話し合いを進めている。

そしてコロナ禍において、グアムには5つ星ホテルができた。ファミリー層や若年層というグアム旅行のコア層に加え、ラグジュアリーホテルでのリゾートステイを楽しみたい富裕層や、ホテル目当てでグアムを訪れる層といった、今までにあまりいなかった客層がグアムを訪れることも期待されている。

秋葉氏は、「FY23終盤の8月にグアム復活のきっかけが見えた。FY24はできるだけコロナ前のように戻せるように、積極的に動いていきたい。旅行業界の皆様もアイデアなどあればお気軽にGVBまでお寄せいただきたい。そして共にグアム旅行を盛り上げていきたい」と語っている。

グアム政府観光局では、「団体旅行マニュアル」「教育旅行ガイド」を刷新。以下ウェブサイトから確認できる。

団体旅行マニュアル
<https://www.visitguam.jp/travel-trade/mice/>

教育旅行ガイドブック
<https://www.visitguam.jp/travel-trade/education/>

週刊ウイングトラベル「グアム特集 2023年 秋・冬号」目次

WING Travel Weekly “Guam Special 2023 Fall/Winter” Contents

グアム政府観光局 (GVB) ●Guam Visitors Bureau (GVB)	2ページ
なぜグアムで団体旅行? ●Guam Group Travel 1	3ページ
グアムの団体旅行なら、こんなことが実現できる! ●Guam Group Travel 2	4ページ
ヒルトン グアム リゾート&スパ ●Hilton Guam Resort & Spa	5ページ
団体旅行のイベント活用 ●Guam Group Travel 3	6ページ
スカイダイブ グアム&サイパン ●Skydive Guam & Saipan	6ページ
ホテル・ニココ・グアム ●Hotel Nikko Guam	7ページ
教育旅行をグアムで高い学習効果が期待できるオリジナルな体験 ●Guam Educational Travel	8ページ
レオパレスリゾート・グアム ●LEOPALACE RESORT GUAM	8ページ
BGツアーズ (バルディガ・グループ) ●BG Tours (Baldyga Group)	9-12ページ
公共施設などのユニークベニューで思い出に残るアレンジを ●Guam Group Travel 4	13ページ
団体旅行モデルプラン ●Guam Group Travel 5	14ページ
グアムプラザリゾート ●GUAM PLAZA RESORT	15ページ
グアム家族旅行体験記 ●Guam Family Travel Experience	16ページ
ザ ツバキ タワー ●The Tsubaki Tower	17ページ
グアム「最新情報」 ●Hot Topics	18ページ
パシフィック・アイランド・ホリデーズ ●Pacific Island Holidays LCC.	18ページ
デュシニグアムリゾート/デュシビーチリゾートグアム ●Dusit Thani Guam Resort/Dusit Beach Resort Guam	19-20ページ



なぜグアムで団体旅行？

ミーティングやインセンティブなど、団体旅行の開催地としても最適なグアム。大型団体から小グループまで多くの企業が団体旅行の開催地にグアムを選んでいる。なぜグアムで団体旅行なのか、そのおすすめポイントやメリットを紹介する。

ポイント
1

安心・安全・清潔な環境

経験豊富な日本人スタッフが多く、そのニーズをよく理解しているグアムでは、これからの団体旅行で最も重要なポイントである「安心・安全」そして「清潔な環境」を整えた受け入れ態勢を実現する。

ここに
注目!

日本語対応 バリアフリー対応も

グアムは、治安や衛生面でも安心・安全。日本人の専用クリニックもあり、医療面でも不安はない。日本語対応、バリアフリー対応も万全。日本人にやさしいビーチリゾートといえる。



ここに
注目!

安定した常夏の気候 一年中がベストシーズン

グアムの年間平均気温は27.5度で、一年中ベストシーズン！安定した常夏の気候で、冬でも泳ぐことができる。季節を問わずにマリナクティビティーが楽しめるのも魅力。自由行動の時間も思いっきり楽しむことができる。



ここに
注目!

日本に一番近いアメリカ! チャモロやスペイン 日本文化も残るユニークな島

グアムは、日本から一番近いアメリカ。日本とは違った雰囲気の中での団体旅行は、参加者の印象を強くすることだろう。また古来のチャモロ文化、スペイン文化、さらに日本文化が上手くブレンドしているのも実にユニークだ。



ポイント
2

短い日程でも、効率的で内容の濃いスケジュールが組める

日本から近いグアムだからこそ、納得できるコストで、期待以上の効果を得られる。費用対効果の高さは、グアムで行う団体旅行のメリットと言える。

ここに
注目!

日本から約3時間半&時差1時間 身体にやさしいリゾート

日本からグアムへの飛行時間はわずか約3時間半*。時差も1時間で、時差ボケの心配はなし。早い時間のフライトを利用すれば、到着日からすぐにプログラムをスタートさせることができる。

*都市によって飛行時間は前後します。



ここに
注目!

空港から各ホテルまでわずか15分! 現地移動もスムーズ

グアム国際空港から主要なホテルが建ち並ぶタモン地区へは、車でわずか15分程度。車の渋滞がほとんどないので、現地移動もスムーズ。数あるビーチリゾートの中でも特筆すべきポイントだ。



ここに
注目!

全国各地からアクセス可能 「グアムで現地集合」も

全国各地から直行便が飛ぶグアムなら、全国展開する企業がグアムに現地集合して全社ミーティングや表彰式を行うことが可能。また韓国や台湾、フィリピンなど、近隣エリアからのフライトも数多く、国際会議にもおすすめ。



ポイント
3

日本人のニーズに合った施設が充実。豊富な実績と、きめ細かなサービス

日本人の受け入れ実績が豊富なグアムだから日本人のニーズに合った施設が充実。きめ細かなサービスにも定評があり、満足度の高い団体旅行が実現できる。

ここに
注目!

CSRやSDGsを 実践できるプログラムも 意義のある団体旅行に

CSR（企業の社会的責任）やSDGs（持続可能な開発目標）が求められる昨今、グアムではビーチクリーニングやサンゴ礁保全、地元のお祭り「フィエスタ」への参加など、地元の社会や環境に配慮したプログラムが揃っている。



ここに
注目!

バラエティー豊かなオプション チームビルディングにも最適

ビーチリゾートのグアムは、アクティビティーが実に豊富。海・陸・空とバラエティーあふれるオプションが揃う。例えば、ビーチでの運動会はチームビルディングにうってつけ。また自由時間の選択肢にも困ることはない。



ここに
注目!

ホテル客室の90%が オーシャンビュー! リフレッシュできる環境

ビーチリゾートという日常とは異なる環境のもと、心身ともにリフレッシュしてミーティングに向かえば、きっと今までにないアイデアが浮かぶはず。団体旅行を成功へと導いてくれる。



グアムの団体旅行なら、こんなことが実現できる!

ビーチリゾートとして長い歴史を誇るグアムは、宿泊施設が豊富に揃い、大型団体から小グループまで対応可能な宴会・会議施設が充実している。また団体専用のカウンターやエントランスを設けたホテルがあるほか、パーティーやイベント、チームビルディングプログラムまで、団体旅行に幅広く対応できる屋内・屋外施設やサービスも整っている。日本に最も近い海外ビーチリゾートだからこそできるグアムならではの団体旅行を実現できる。

提案 1 充実、安心の環境でミーティング



各ホテルには宴会・会議施設が充実しているほか、Wi-Fiなどのネット環境も万全。日本とほぼ同じ環境でミーティングをスムーズに実現できる。日本人対応に慣れた経験豊富なスタッフがサポートするので安心だ。

ここに注目!

大型団体から小グループまで幅広く対応

グアムの各ホテルでは、さまざまなサイズの宴会・会議施設を用意しているため、数百人から千人規模の大型団体から、10~30名程度の小グループまで、幅広く対応できるのが強みだ。

日本各地、周辺諸国をカバーする展示会場にも

全国各地から直接アクセスが可能なグアム。各空港から出発し、現地グアム集合といったアレンジができる。さらに韓国や台湾、香港やフィリピンなど、アジア各国からのフライトも飛ぶので、近隣国との国際会議やミーティング、展示会の場としてもおすすめだ。



提案 2 チームビルディングなど、目的や意義のあるプログラム



企業の団体旅行において、昨今は単なる遊びではない、旅行の目的や意義を求められる傾向が強くなっている。結束を高めるチームビルディング、社会貢献につながるプログラムを実践する場としてもグアムはおすすめだ。

ここに注目!

高い成果が期待できるチームビルディング

ビーチリゾートとして発展したグアムでは、団体旅行のチームビルディングのプログラムが豊富。ホテルやアトラクション施設では、ユニークなアレンジを用意。ビーチでのプログラムなど、日本ではなかなか体験できない内容も揃っている。グアムならではの解放感の中で、高い成果が期待できる。

CSR、SDGsを実践、貢献できるプログラムも充実

グアムでは、CSR(企業の社会的責任)、SDGs(持続可能な開発目標)を実践、貢献できるプログラムが充実している。ビーチクリーニングやサンゴ礁保全、記念植樹、地元のお祭り「フィエスタ」への参加はその一例。記念植樹を行う際は、社名を刻むことで、5年後、10年後再訪するなど、企業の結束を高める効果も期待できる。



提案 3 印象に残るパーティー



団体旅行の効果を最大限に引き上げるには、印象に残るイベントやパーティーがおすすめ。ビーチリゾートだから実現できるビーチサイドでの屋外パーティーは忘れられない思い出となるはず。あっと驚く演出やユニークなプランもアレンジ可能だ。

ここに注目!

グアムならではの開放感溢れる屋外パーティー

「グアムらしさ」を打ち出せるビーチサイドやプールサイドでの屋外パーティー。団体旅行を主催するオーガナイザーからの人気も高く、開放感のある空間でのイベントは、参加者にとって「記憶に残る」印象的なひとときとなるだろう。また各ホテル等では、万が一の天候に備えた代替エリアも確保でき安心だ。

多様なニーズに合わせたユニークなパーティープラン

各ホテルでは、さまざまなタイプの宴会・会議施設を備えているのはもちろん、レストランでの宴会アレンジも万全。音響や照明など、最新設備を導入し、企業イメージのカラーを演出したものや、テーマに沿ったパーティーのアレンジも。シアターでの表彰式や巨大なアトリウムを使ったセレモニーといった、アメリカならではのダイナミックな演出も可能だ。



提案 4 グアムの大自然を満喫できるアクティビティー



グアムでは、大自然を満喫できる各種アクティビティーが豊富。団体でツアーや施設を丸ごと貸し切りができる場所が多く、各企業のオリジナルイベントを開催することもできる。

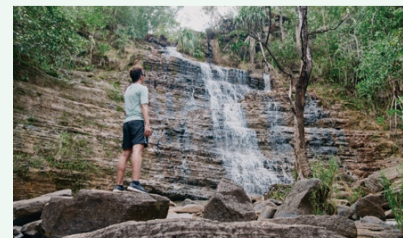
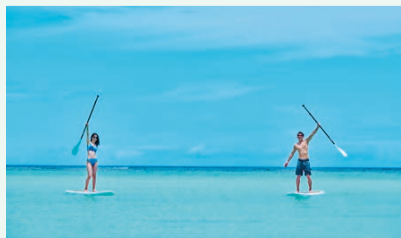
ここに注目!

グアムならではのマリンアクティビティー

美しい海を体験できるアクティビティーはグアムならではの。海の中から、またビーチサイドから、せっかくグアムに来てビーチを体験しない手はない。真っ白な砂浜でチームビルディングプログラムを実施したり、ボートを貸し切ったイルカウォッチングなど、団体の結束力が高まるだろう。

グアムは豊かな緑も魅力! リパークルーズやトレッキング

美しい海とともに、豊かな緑が多く残るのもグアムの魅力。鬱蒼とした植物が生い茂るジャングルの中をボートで巡るリパークルーズや、山の中を切り拓きながら、滝や洞窟、赤土の丘を巡ることができるトレッキング、ハイキングを通して、これまでと違ったグアムの魅力に出会えるだろう。



着々と進むプレミアタワーの改修工事 団体旅行のさらなる獲得に本腰

グアム初の総合リゾートホテルとして1972年に誕生し、タモンエリアで唯一の音が聞こえるリゾート感あふれるヒルトン グアム リゾート&スパ。今年着手したプレミアタワーの改修工事は順調に進んでおり、他にも時代やトレンドに合わせたアップデートが行われている。そして団体旅行、特に報奨旅行の受け入れについては、長年培ってきたノウハウを生かし、さらに拡大していく構えだ。

着々と進むプレミアタワーの改修工事 客室は落ち着いた雰囲気に一新

ヒルトン グアム リゾート&スパを構成する3つの客室棟のひとつ、プレミアタワーの改修が進んでいる。2024年1月にはすべての改修が完了予定で、来年2月以降はリニューアルされたプレミアタワーに宿泊できる。

今回の改修では、特に通常カテゴリーの客室が大きく生まれ変わる。最もわかりやすいのが客室のフロアだ。これまで全面にカーペットが敷かれていたが、改修後はウッド調の床材が採用され、ダークブラウンの落ち着いた雰囲気になる。またバルコニーの手前の Couch やデスクがある場所にエアラグを敷くことで、ヒルトンらしさも残した。また、クローゼットはすべて扉のないオープンな



プレミアタワーの改修後の客室イメージ

タイプに変更。これにより圧迫感が薄れ、客室が広く見えるような効果をもたらしている。

バスルームは、シャワーブースを撤去して洗面台をダブルシンクに変更。例えば女性2人で宿泊する場合でも、メイクなど身支度をする際に、2人同時に洗面台を使用できるようになる。

団体・報奨旅行に強み 敷地全体を使いウェルカム感を演出

今夏のヒルトングアムは家族連れの日本人旅行者が増加した。レストランでも観光客の姿が目立つようになり、いよいよグアムの日常が戻ってきたといえる。

旅行需要が徐々に戻りつつある今、ヒルトングアムが本腰を入れているのが団体旅行の獲得だ。ヒルトングアムには、メインタワー、タシタワー、プレミアタワーと特徴の異なる3つのタワーがあり、それぞれにカテゴリーの異なる客室を備えている。大型団体にも対応可能だが、ヒルトングアムが最も得意としているのは、50~100人(25~50室)規模の団体だ。団体の中でも増加傾向にあるのが報奨旅行で、営業成績などに基つき客室のカテゴリーを変えたいという要望にも対応できる。

パーティー会場も充実している。ヒルトングアム最大の宴会場が、着席形式

で250人を収容できるマイクロネシアンボールルームだ。ここには大きなステージがあるため、本格的な雰囲気の中で成績優秀者の表彰式を行うことが可能だ。また、屋外には着席で400人を収容できるスペースもあり、団体の規模によってはマイクロネシアンボールルームを荒天時のバックアップとして押さえることもできる。その他にも20~50人の小規模団体に適した各種バンケットルームやミーティングルームも備えている。



マイクロネシアンボールルーム

ヒルトングアムのパーティーでの大きな強みが、ビュッフェだけでなくコースメニューの提供にも対応できることだ。報奨旅行というお祝いの場で、料理を取りに行ったり来たりする必要がなく、着席のまま料理を楽しめる。また、コーポレートカラーや企業のロゴ、代表的な商品の色に合わせたオリジナルの料理、デザート、ドリンクなどを作ることも可能。テーブルクロスやナプキン類も同様に、企業のロゴやコーポレートカラーに合わせられるよう、さまざまな色を用意している。

広大な敷地を誇るヒルトングアムで



敷地内のバナーに企業名などの掲出の演出も

は、バスが敷地に入ってから宿泊棟に向かうエントランスの両側にバナー(幟)を10本掲出することができる。企業名はもちろん、周年記念旅行であればその旨を記載したり、成績優秀者の氏名を記載したりできる。バナーの表と裏で異なるデザインにすることも可能だ。各タワー内だけでなく、敷地に入った瞬間から始まるサプライズ感やウェルカム感の演出は、ヒルトングアムが得意とするサービスだ。

ローカルにも人気のツリーバー リゾート感あふれる雰囲気に

コロナ禍の影響で唯一再開していなかったツリーバーでのトロピックスバーベキューは、コロナ後の市場の変化などにより廃止することが正式に決定したが、ツリーバーは今も変わらず軽食や様々なドリンクを提供する人気のバー。2024年春までには、新たにバーに適した Couch や籐風デザインの椅子、バー向きのテーブルに入れ替え、全180席に拡大。これまでどおりバンドの生演奏なども入ることから、さらにリゾート感あふれる雰囲気になる。



Paradise Found

ヒルトングアム・リゾート&スパは
タモン湾の南端にあり、
美しい太平洋のビーチに囲まれています。

すべてのゲストを満たす心豊かなおもてなしで、
ハイエンドな魅力にあふれたリゾートステイをご堪能いただけます。



スポーツイベントや文化系フェスティバルなど 各種イベントを団体旅行に取り入れる

合宿やスポーツイベントを絡めた展開も

常夏の島グアムは、一年中スポーツに最適な環境だ。最適な練習環境施設が整い、スポーツチームの合宿先としても根強い人気を誇る。またマラソンをチームビルディングに活用する例など、スポーツイベントを絡めた提案も可能だ。

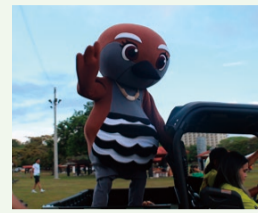
団体旅行にグアムならではのイベントを活用

グアムでは年間を通して、さまざまなイベントが開催されている。各種参加型のスポーツイベントだけでなく、スペインやアメリカ、日本に影響を受けたグアムのこれまでの歴史を今に伝える文化系フェスティバルをはじめ、自然の恵みを祝うフルーツの収穫祭、どれも日本では体験できないものばかり。各イベントに合わせて、グアムへの旅程を組み込むことで、より印象深い団体旅行を実現できる。



今年4月に3年ぶりの「グアム・ココ・ロードレース」開催 2日間で約1000人が参加

2023年4月15日(土)・16日(日)はグアムの人気イベントの一つである「グアム・ココ・ロードレース」が3年ぶりに開催された。レースは15日に12歳以下の子どもたち(1.6~6キロ、約490人参加)、16日は一般ランナーによるレース(10キロ、約590人参加)が行われ、地元の人々や世界各国から訪れたランナーが早朝のグアムを疾走した。レースに先立ち、グアム州知事のルー・レオン・ゲレロ氏が登壇し「グアムのこのイベントの復活



ロードレースのマスコットであるココバード(グアムクイナ)はグアム固有種の飛べない鳥



ロードレース参加者にはTシャツ、メダル、タオルなどの記念品が配られた

を喜ばしく思う。グアムを訪れている海外の参加者たちについても、ぜひハファダイ(ウェルカム)精神で応援してほしい」と挨拶した。

グアムならではの歴史や文化を体験 村のお祭り「フィエスタ」に参加する

「フィエスタ」は、グアムの各村で開かれる守護聖人のお祭り。グアムには19の村があり、それぞれの村に守護聖人がいる。スペイン統治時代に端を発するカトリック由来のお祭りでも、グアムの多彩な歴史文化を反映したものと言える。祭りの当日は、子豚の丸焼きやグリルチキン、ポークリブ、ポキ、ケラグエンなどのチャモロ料理を地元の人々が協力して作り、村の人々はもちろん、観光客にも分け隔てなく料理を振る舞い談笑し、音楽を楽しみ、歌い、踊りながらひとときを過ごしている。



フィエスタでは地元のチャモロ料理が並ぶ



チャモロ文化にふれる

各村で開かれる「フィエスタ」に参加して、グアムの歴史や文化を体験し、地元の人とのふれあいを通じて、南の島ならではののんびりとした雰囲気を感じて、特別な体験をすることができる。

スカイダイブ グアム&サイパン

Skydive Guam & Saipan

幅広い年代で楽しめるエキサイティングな体験 一度体験したら必ずリピーターに

多くの日本人旅行者がスカイダイビングを体験

スカイダイブ グアム&サイパンは、観光客向けにスカイダイビングが体験できるアクティビティとして、1995年にサイパンで創業。その後、1997年にグアムに進出し、多くの日本人観光客にエキサイティングな空のアクティビティを提供してきた。その魅力は、体験した人にしかわからない、他にはないスカイダイブだけの楽しみがあるということ。スカイダイブグアムの利用者の約8割が日本人。その多くは20~40代だが、一度スカイダイビングを体験すると熱狂的なファンになる人が多いという。なかには、10年間で235回のダイブをした65歳の日本人男性も。

スカイダイビングは幅広い年齢層が楽しめるアクティビティと言えるだろう。スカイダイブグアム&サイパンのPresident & CEOのジョン・ステュアート氏が「上空4200メートルから落ちてゆく感覚は、言葉で表すことができないほどエキサイティングな体験」と語るように、飛行機から空へ向かって足を踏み出し、一気に下降するエキサイティングな速さ、そしてパラシュートが開いた後、眼下に広がる景色を眺める優雅なひとときは、他では得難い体験だ。「心を決めて飛ぶ前の気持ちと飛んでからの『達成感』は、人生感が大きく変わるほど。一

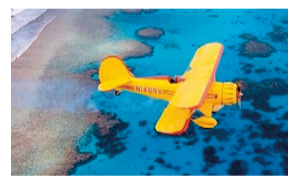


ジョン・ステュアート President & CEO

度その魅力を知ると、必ずリピーターになる。季節によって空から眺める風景が違うのも繰り返し参加したくなるポイント」とアピールする。

ハネムーンやカップルには 遊覧飛行ツアー

同社では、スカイダイビングのほかにサイパンで遊覧飛行ツアーも提供。なかでも「飛行機の黄金時代」である1930年代のレトロなデザインを完全再現したWACOバイプレーンで空の旅を体験できる「マリアナの大空を巡る遊覧飛行ツアー」がおすすめです。



サイパンの上空高度1000フィートを、窓のないオープンコックピットから、楽しむことができる。一回のフライトでオープンコックピットに搭乗できるのは、二人だけ。マリアナの絶景を360度見渡すことができる。

この感動は飛んだ人だけが知っている!! 世界観が変わる体験。

Skydive Guam & Saipan

本当に貴重な体験でした!
★★★★★
2023/09/03 | 家族 | チョコ大好き
雨季の台風シーズンにもかかわらず、お天気の中で本当に幸せでした!一緒にやってくれるスタッフの方も日本語で「最高!」などと一緒に楽しさを共有してくださって、更に最高の時間になりました。ありがとうございます。

一生の思い出になりました!!
★★★★★ 2023/09/05 | 家族 | ゆっこ
娘と2人で参加させていただきました!
スタッフさんのオススメでその場で4200mに変更して頂き撮影してもらって頂きとても素晴らしい思い出となりました。
どのスタッフさんお揃いさん笑さくで日本人の女性スタッフさんも優しく安心して体験することができました...続きを読む

絶対またやりたい!次は4200m!!!!
★★★★★ 2020/01/19 | 友達・同僚 | サイパン大好き
一生に一度はやりたいと思っていましたスカイダイビング。今回サイパンに行くことになったため、思いきって参加させて頂きました。
参加者が予想外に多く、待合室にはたくさんの人・人・人!まずはそれに驚きました。

最高でした
★★★★★ 2023/06/12 | 友達・同僚 | ぽーぽぽ
よく、人生に一度はやったほうがいいもの例として挙げられたいい意味がわかりました。
やった後の自分の心持が全く別人になった感覚です。おそらく、今後どんなに嫌なことがあってもまたあんなに楽しかったと思え...続きを読む

日常の喧騒を忘れ、波音と癒しのひと時を楽しむリゾート 自然あふれる海辺の楽園「Effortless Eden」

進化するEffortless Eden

ホテル・ニッコー・グアムは、ホテルの新たな魅力向上に向けたブランディングをスタートさせている。その一環としてすでにバスアメニティのグレードアップやモバイル・アプリの導入、SDGsへの対応強化といった取り組みを実現してきたが、さらに「プレミアム・ラウンジ」の飲食のグレードアップ等の新たな進化策にも着手している。

グアムの美しい自然のなかで、ひとときの現実逃避を体験できる海辺の楽園として進化を続けるホテル・ニッコー・グアムが掲げるブランド・コンセプトは「Effortless Eden」。文字通り居ながらにして楽園を満喫できるホテルを目指す取り組みが進められている。

バスアメニティ刷新やSDGs対応が先行

ブランド・コンセプト「Effortless Eden」のもと、着手したのがバスアメニティの刷新。すでにスタンダードカテゴリーの客室「オーシャンフロント」と、「オーシャンフロント・デラックス」はバスアメニティを「ロクシタン」に変更し、



壁付けの「ロクシタン」のバスアメニティ

上級カテゴリーの「オーシャンフ

ロント・プレミア」と「オーシャンフロント・スイート」等のスイートカテゴリーではグアム初上陸となるロンドンのハイブランド「アトキンソン」のバスアメニティを採用済みだ。

またモバイル・アプリも個人客を対象に導入し、ゲストのスマートフォンをデジタルルームキーとして使用するサービスも実施。アプリ経由でレストランやアクティビティ予約を受け付けたり、スマホ画面から客室アイテム（バスタオルや歯ブラシ等）の補充や客室清掃を頼めるサービスも提供している。

SDGsに関してはシャンプー等の容器を使い捨てボトルから詰め替え式大型ボトルに入れ替えたほか、

環境に優しいエコ素材でできた「ハスキー」のタンブラーカップを採用。ハスキーカップは持ち帰り可能で、「帰国後も持続可能な未来の一端を担っていただければ...」という思いが込められている。さらに給水器をすべての客室フロアに設置済みで、将来的には全室にピッチャーを用意しペットボトルの使用を全廃する方針だ。

楽園にふさわしい料飲体験を考案中

宿泊客の料飲体験の充実やバリエーション拡大の取り組みも進行中だ。「オー



環境に優しいエコ素材でできた「ハスキー」のタンブラーカップ

シャンフロント・プレミア」と「オーシャンフロント・スイート」等のスイートカテゴリーの宿泊客が利用できる「プレミアム・ラウンジ」では、朝7時～10時までカジュアルなブレイクファーストの提供を開始。ラウンジの利用客は、1階のレストラン「マゼラン」でフルブレイクファーストを摂ることもできるが、好みに合わせてラウンジで朝食をする選択肢が増えた。

「プレミアム・ラウンジ」ではカクテルタイム（17時～19時）も進化中で、ビールやワイン、スパークリングワイン、ハードリカー、焼酎など各種ドリンクと、おつまみ類の内容をグレードアップ。従来の飲食メニューに加えて、ホテルの3大シグニチャーレストランである中国料理「桃李」、日本料理「弁慶」、インターナショナル・ブッフェ「マゼラン」の日本人シェフたちが腕によりをかけたアパタイザーを提供。ペアリングしたアルコール類も用意している。

グアムならではの体験も拡充

南国のリゾートであるグアムらしさを、より実感できるサービスにも力を入れている。たとえばウェルカムドリンク一つをとってもその工夫がある。「オー

シャンフロント・プレミア」と「オーシャンフロント・スイート」等のスイートカテゴリーの客室のウェルカムドリンクに、これまでのグアムの地ビールとフレーバージュースに、新たにココナツウォーターを加えた。ココナツウォーターを提供するのはグアムのホテルでも珍しく、グアム感を高める演出効果も期待できる。

ホテル目の前のプライベート感のあるビーチに新たに導入を予定しているのが最新式のガゼボだ。天蓋付きのソファベッドといった風情のガゼボで寛ぎ、グアムの滞在をゆったりと過ごし、楽園感を満喫してもらうためのアイデアだ。

団体利用にも細かい配慮

ホテル・ニッコー・グアムは団体利用の人気の高い。全470の客室はオーシャンフロント・ビューで部屋の真正面に海が見えるため、団体宿泊客にも素晴らしい眺望を公平に提供できることや、全室禁煙であるものの各室のバルコニーで喫煙が可能なことも人気の理由だ。

エントランスに大型バス2台が横付け駐車でき、エントランス横にも4台駐車可能なスペースがあることや、20名以上の団体ならロビー階下の屋内噴水広場（ロタンダコート）を着席チェックイン&ブリーフィング用にアレンジ可能なメリットもある。

オープンエアでグアムらしさを楽しめる人気のガーデンパーティーについても、雨天時のバックアップとなるバンケットを無料で確保できる点も安心材料だ。



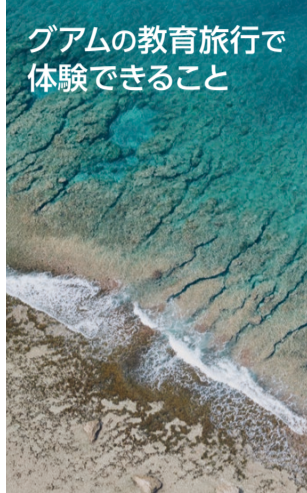
ホテル・ニッコー・グアムはタモン湾の端にあるプライベートな隠れ家「Effortless Eden」です。到着した瞬間から、緑の豊かさと贅沢なくつろぎが絶妙なバランスで調和していることを実感していただけます。太平洋の温かく優しい風が自然のままの白浜のビーチを横切り、壮大な景色とワールドクラスのアメニティを備えた、日常生活から抜け出すことのできる楽園「Effortless Eden」をホテル・ニッコー・グアムでのご滞在で見つけてください。

教育旅行をグアムで! 高い学習効果が期待できるオリジナルな体験

小学校から大学・専門学校まで、修学旅行や研修旅行など、海外教育旅行の目的地として最適なグアム。直行便で行ける日本から最も近い英語圏であり、充実したインフラと、豊かな自然と文化が息づくグアムでは、高い学習効果が期待できる。

グアムで教育旅行! 10の理由

- 1 安心・安全・清潔な環境
- 2 日本から近く、時差わずか1時間! 至便なアクセス
- 3 日本から最も近い英語圏
- 4 短い日程でも 充実したスケジュールが組める
- 5 1年中が旅行シーズン
- 6 ユニークな歴史と文化
- 7 「自然が教室!」 海と陸でさまざまな体験を
- 8 充実の施設
- 9 現地校との交流など、体験プログラムが豊富
- 10 SDGsをグアムで実践、意義のある教育旅行に



グアムの教育旅行で体験できること



自然・海洋学習
Nature and Ocean study
海に、そして陸に、手付かずの大自然が広がるグアム。そんな自然について学んだり、体験したりできる素材が揃っている。なかでも海洋学の分野では、グアム大学が世界でも高い研究レベルを誇り、より高度で専門的な学習も可能だ。



歴史／平和学習
History / Peace
太平洋に位置するグアムは、古来よりさまざまな人達が交わる場所。そこからチャモロ文化が形成され、スペインやアメリカの統治時代を経て今に至る。また第2次世界大戦には一時的に日本の占領下となったこともあり、先の戦争を知り、平和の尊さを学べる場所でもある。



スポーツ学習
Sports study
年間通じてスポーツをするのに最適な練習環境が整うグアムでは、プロからアマチュアまで合宿先として高い人気を誇る。また充実した設備を利用したアクティビティーは、結束力を高めるチームビルディングにぴったり。現地校／団体とのスポーツ交流も可能だ。



語学研修／学校交流／ホームステイ
Language training / School exchange / Homestay
日本から一番近い英語圏であるグアムは、英語教育に最適。グアム大学などの教育機関で、高度な学習が受けられるほか、現地校との交流やホームステイなどを通じて、異文化交流の重要性を肌で感じることができる。



その他ユニークプログラム
Unique programs
社会貢献活動に参加したり、将来のキャリア形成に役立つ話を聞いたり、観光産業の現場を体験したり、資格を取得したり、その内容は実にバラエティー豊か。生徒／学生たちにとっても忘れられない経験となるだけでなく、高い学習効果も期待できる。



チャモロ文化学習／体験
Chamoru culture / Experience
グアムには、独自のチャモロ文化が日々の生活の中で脈々と受け継がれている。古くは紀元前から伝わり、スペイン統治時代を経て、アメリカや日本の文化も取り入れながらブレンドされたこの文化は、グアムにしかない魅力だ。



グアムでSDGsを実践する
持続発展可能な現場を体験する
近年、日本でも注目度が高まるSDGs(Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標)。グアムでもSDGsの現場を体験できる素材が揃っており、こうした現地での体験を通じて、SDGsの意義を学び、問題解決能力を身に付けることができる。



LEOPALACE
GUAM

常夏の楽園・グアム島中心部の丘陵にひろがる、レオパレスリゾート・グアム。美しい景観をはじめ、ゴルフ場が併設されたリゾートは、まさに夢の楽園。おもてなしの限りがつくされたプライベートの空間で、あなたが体験するのは想像を遙かに超えた極上のリゾートライフです。



各種団体グループにベストな体験を

「Once in a Lifetime... Every Time」

他では体験できないユニークで Only One なツアーを提供

グアムで数々のアトラクションを手がけるバルディガ・グループは、常にグアムの観光シーンをリードする。その高品質なプロダクトとサービスは、「グアムでベストな体験」を演出、さらに各種団体グループにも多彩なアレンジで大きな成功へと導いてくれる。

ホームページ: <https://bestguamtours.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/bestofguamjp>

Instagram: <https://www.instagram.com/bestofguamjp>

LINE ID: BGTours

※日本語で対応可能です。

※LINE電話でのお問い合わせも受け付けています。



グアム最新のショー「KARERA (カレラ)」がスタート

「サンドキャッスル」

<https://bestguamtours.jp/shows/sandcastle-guam/>

収容人数 500名

最新テクノロジーを駆使した創造的なステージ
太平洋の島への旅の物語がテーマ

KARERA

30年以上にわたり、画期的なエンターテインメントを提供し続けてきたバルディガ・グループが手掛ける最新作のオリジナルショー「KARERA (カレラ)」がスタートした。

新しいショー「KARERA (カレラ)」は、グアムの文化をテーマとした「太平洋の島への旅の物語」。映画、テレビ、ダンス、サーカスなどのエンタメ業界で20年間にわたりダンサーおよび振付師として活躍してきたスーザン ゴドロー氏がショーディレクターに就任。シルクドゥ ソレイユの数々の作品でアーティストリック コーチとして参加したゴドロー氏が、太平洋の島々の神秘的なカルチャーに魅了され、活気に満ちた熱帯の世界で繰り広げられる冒険と発見の物語、壮大な旅を創り上げた。

サンドキャッスルでは、このショーのために大々的なリノベーションを実施。100万ドルのIMAXスクリーン、37個のスピーカーで構成されたフランスのアコースティック サウンド システム、そしてシアター スタイルのシートを備えた新しいメザニン席の導入など、洗練されたモダンで最新テクノロジーを搭載したシアターへ生まれ変わった。

ステージでは、最新の照明システムを導入したムービングライト、躍動感を演出する13基のステージリフトなどマルチ

メディアを駆使し、観客とショーが一体となる創造的でスリリングで楽しいライブ エンターテインメントを演出。アクロバット、音楽、ダンスを融合し、そしてグアム独自の文化を表現している。

言葉の心配は不要
誰でも楽しめる内容

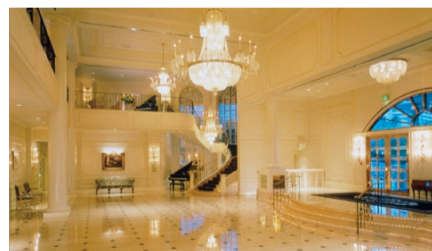
最新のショーの公演時間は約60分。アクロバット、音楽、そして最先端のテクノロジーによって創造されるストーリーは英語が分からなくても大丈夫。言語の心配なく、小さな子供からお年寄りまで、あらゆる年代が楽しめる。

ニーズに合わせた座席カテゴリーを選択
バリアフリーにも対応

最新テクノロジーを搭載したサンドキャッスルは、ショー専用のシアター(食事の提供はなし)。ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナムVIP、ダイヤモンドVIPの座席カテゴリーがあり、プラチナムVIPとダイヤモンドVIPは席自体の幅がゆったりとしたシートになっている。

またダイヤモンドVIPプランにはショーの前にシャンパンサービスやショー後にバックステージへの案内など特別なサービスも。座席の位置やプランによる料金が異なっている。バリアフリーにも対応しており、リフト付きバスでの送迎サービス(有料サービス)、段差のないシートへ案内するなどのアレンジが可能。また、車いす用の出入り口や車いす対応のトイレも館内に完備している。

MICE (大型から小グループ)、ウェディング、修学旅行まで
天候に左右されない屋内施設はグループにも安心



サンドキャッスルのエントランス

「サンドキャッスル」は全500席とグアムで最大級の収容規模を誇るディナーシアター。最新かつ最高レベルの機材を搭載し、あらゆるグループのイベント、セレモニー等にも魅力的な施設となった。

屋内施設なので、天候に左右されないのも大きな強みのひとつ。大型スクリーンを使ったプレゼンテーションなど、グアムで最高の音響/照明設備を誇るス



テージで、特殊設備を利用した印象的な演出が可能だ。ショーの貸切だけでなく、ステージを使った式典や表彰式など、貸切用特別プランも用意し、インセンティブ・グループをはじめ各種大型団体に対応している。

また、吹き抜けのエントランスは、パーティーやレセプションにも最適。ウェディング会場としても人気が高く、ケーキやお花、記念写真などのアレンジにも対応する(別料金)。

団体利用の場合には、このエントランスを利用して、カクテルとオードブルの立食レセプションを実施してから、サンドキャッスル「KARERA」のショーの貸切、また、イベントでのステージの利用も可能だ。

さらに、バルディガ・グループが運営するグアム最大のクラブ「ZOH (ゾー)」や、隣接する地中海料理をテーマとした「ANEMOS (アネモス)」と合わせたグループ利用もおすすめ。ANEMOSで

ディナーを楽しんだあと、また「ZOH」での貸し切り利用のあと「KARERA」でショーを楽しむなど、特別感を演出する活用ができる。

いずれもタモン地区の中心にあり、ほとんどのホテルから車で5~15分でアクセスできる便利な立地も大きなポイントだ。

修学旅行、ファミリーにもお勧め

サンドキャッスルでは、修学旅行用の特別プランや、特別料金も用意。学習の場所としても注目されている。最新のショー「KARERA」は文化をテーマにしているので、グアムをはじめ太平洋の島々のカルチャーをショーを通して学ぶこともできる。

また、入場には年齢制限が無いので、世界でも数少ない「子供といっしょに楽しめる」本格的なショーでもある。子供にも特別な体験ができるエンターテインメントとしてリピーターも多い。

アネモス

<https://bestguamtours.jp/bars-clubs/anemos/>

収容人数 屋内 80名 (外のパティオ席を含め100席まで利用可能)

グアム発の本格的な地中海料理レストランが、サンドキャッスル目の前に誕生した。このレストランオープンのためにギリシャから呼び寄せた2人のギリシャ人シェフが、ギリシャ、フランス、スペイン、レバノン、イタリアから取り寄せた産地直送の食材を使用し、新鮮なギリシャ料理を提供する。

レストランの内装は地中海を意識した爽やかかつ高級感溢れる印象。天井にはアースカラーの大きな布があしらわれ、ブルーやグリーン、白のインテリア

が際立つデザインだ。ANEMOS (アネモス) はギリシャ語で風。窓からは心地よい風が吹き抜け、開放的な雰囲気だ。

水曜日を除く毎日11:30AM - 10:00PMの営業で、ランチやディナーはもちろん、カクテルタイムや街歩きで一息つきたい時など、利用の仕方はさまざま。新たなスポットとして注目だ。



特別なグアムの休日は

Once in a Lifetime...Every Time.

— 夢の時間を探しにいこう。—

ハイクオリティな厳選ツアーで!

個人旅行から、大型団体、ウェディングなど
全てのお客様に対応



グアム随一の本格的ショーシアター「サンドキャッスル」

ワールドクラス
エンターテイメント

場所 ハイアットリージェンシーグアム、デュシタニ グアムリゾート、デュシットビーチリゾートグアム 隣

時間 ロビーエリア 18:00開場、ショー会場のドアオープン 19:15、ショータイム 19:45~21:10 定休日 日・水曜日(貸切公演のみ催行可) 収容人数 500名

KARERA

サンドキャッスル最高傑作 待望の最新作、2023年6月オープン!

グアム最大級のショーシアター、サンドキャッスル。2023年6月にサンドキャッスル史上最高傑作のショー-KARERAの公演が皮切りとなりました。豪華な白亜の城のショールームで華麗なダンスと迫力満点のパフォーマンスが繰り広げられるサンドキャッスルのオリジナルショーはグアムのみならず、グアムが世界に誇れる最新のショーとして注目を集めています。

より華麗に、よりダイナミックに、パワーアップ!



「タオタオ・タシ」ビーチディナーショー

BBQ/ビュッフェ
ディナー&ショー

場所 タモン、ニッコーホテル隣 時間 17:15PM~20:30PM(季節及び宿泊のホテルによって異なります) 定休日 日・水曜日(貸切公演のみ催行可) 収容人数 500名(隣接エリアを併用の場合は800名)



グアム最大級のオン・ザ・ビーチディナーショー

サンセットタイムにビーチサイドで味わう食べ放題豪華BBQビュッフェと太平洋の島々のスピリッツが息づくアイランドショーが一つになった、グアムを代表する夜のアクティビティです。



大人 \$120~ 送迎付き
子供(6~11才) \$45~

** グループ料金および貸切用特別プランあり

BIGサンセットディナークルーズ クルージング&ドルフィンウォッチングツアー

場所 グアム島南部の海岸 時間 4:00PM~8:00PM(季節及び宿泊のホテルによって異なります) 送迎付き
営業日 月・木曜日(貸切利用は営業日以外も可能。要事前問い合わせ) 収容人数 65名



ドルフィンウォッチングとサンセットタイムのクルージングが一度に楽しめる、グアム唯一のディナークルーズ。満点の星空、底釣り体験、デッキでのダンスタイム、イルカに出会えることも…。バイキングディナーとともに、グアムでしか体験できない時間をお過ごしください。

大人 \$125~ 子供(2~11才) \$55

グループ料金および貸切用特別プランあり

VIPコース(2階デッキ席をリザーブ) 毎夜2グループ限定 1グループ2~4名 大人 \$180 子供 \$75

*カジュアルな服装でのご参加をおすすめいたします。また、ハイヒールの着用はお控えください。
*天候、海洋状況等により、内容およびスケジュールが変更となる場合がございます。
*今後営業日が変更になる可能性もあります。最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

ライドザ・ダック 水陸両用観光バスツアー

場所 タモン他 時間 11:30AM~3:30PM
定休日 ウェブサイトでご確認下さい 収容人数 36名



タモン地区サンドキャッスル前より出発。陸上の快適ドライビング、水上の迫力クルージング、クルージングを楽しんだ後にはアガニアの名所を周遊。新感覚の興奮をファミリー、グループでお楽しみください!

1ライドパス
大人 \$55
子供(2~11才) \$25

アネモス地中海料理レストラン

場所 サンドキャッスル、ZOH隣 営業時間 11:30AM~10:00PM 定休日 毎週水曜日 収容人数 80名

グアム初の本格的な地中海料理レストラン。ギリシャ人シェフが、本場直送の食材を使用して、新鮮な地中海の味をお届けします。



ZOH エンターテイメントセンター ナイトライブ

場所 タモン、プレジャーアイランド内 サンドキャッスル隣 時間 8:00PM~2:00AM 営業時間 金曜日、土曜日 収容人数 800名

2022年12月オープン!

タモン地区サンドキャッスル隣に位置するグアム最大のクラブ「グローブ」が「ZOH」としてリニューアルオープン。コンセプトの異なる二つのバーもオープンし、グアムの新しいナイトスポットが誕生しました。



*各種イベント、パーティでの貸切使用可 *最新の営業スケジュールはウェブサイトでご確認ください。

ザ・ビーチ レストラン&バー オン・ザ・ビーチダイニング

場所 タモン、ニッコーホテル隣 定休日 なし 収容人数 1000名
営業時間 月火水 16:00PM-22:00PM、木曜日 16:00PM-2:00AM、金曜日 16:00PM-0:00AM、土曜日 12:00PM-0:00AM、日曜日 12:00PM-22:00PM

最高のサンセット・ビューポイントで波の音を聞きながらお洒落で清々しいダイニングはいかがですか。昼は洗練されたビーチバーの佇まい。夜にはローカルたちも素敵な夜を楽しみます。地元の美味を取り入れたダイニングとしても知られ、各種ドリンクから軽食まで幅広く味わえます。



●各種シャトルでザ・ビーチバー下車 ※お席の事前予約プラン(有料)あり

BGツアーズ ウェブサイト: <https://bestguamtours.jp/>
Facebook: <https://www.facebook.com/bestofguamjp>
Instagram: <https://www.instagram.com/bestofguamjp>

LINE ID: **BGTours**
※日本語で対応可能です。
※LINE電話でのお問い合わせも受け付けています。



記載情報は
2023年9月30日
現在のものです

クラブ「ZOH」

<https://bestguamtours.jp/bars-clubs/globe-nightclub/>

2022年12月
オープン!

グアム最大のクラブスペース イベント会場、二次会にも

サンドキャッスルに併設するグアム最大のクラブ「グローブ」が「ZOH」としてオープンした。最新の音響、照明を完備し、内装も完全リニューアル。国籍、年代関係なく楽しめるグアムの夜の最新おすすめスポットとしてさらにパワーアップした。グループにはテーマパーティー

や屋内型チームビルディング、コンサートやファンクラブイベント、また、2次会での利用やカジュアルなパーティー、そして少しおしゃれをして楽しむカクテルパーティーまで、それぞれの目的に応じてユニークな提案ができるのもおすすめだ。



ライド・ザ・ダック グアム

<https://bestguamtours.jp/cruises/ride-the-duck/>

収容人数 36名

グアム初の水陸両用車ツアー 迫力の海上ダイブ! 貸切も

グアム初の水陸両用車ツアー。ツアー専用でできた36名乗りの水陸両用車を4台用意、グループの貸切にも対応する。タモンエリアを出発し、スペイン広場やラッテストーン公園など、アガニア地区の観光ポイントを車窓観光、そしていよいよアブラ湾から水しぶきをあげながら海上ダイブ! 運が良ければ、海上を航行しながら停泊する軍艦を見ることが出来る。



ツアーの発着地はタモンエリアの中心地区にあるサンドキャッスル前とアクセスも抜群だ。所要時間は90分、ほぼ毎時の運行と予定を立てるのにも便利。すべて新車で万全な安全対策を施しているので安心だ。グアムの新しい魅力を発見できるツアーだ。



BIG サンセット ディナークルーズ

<https://bestguamtours.jp/cruises/big-sunset/>

収容人数 65名

ドルフィン
ウォッチングも
楽しめる!

グアム唯一のディナークルーズ 貸切もOK! グアムの自然を満喫

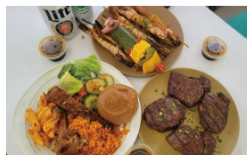
雄大な海原と美しいサンセットを眺めながら、豪華なバーベキュー・バイキング料理が味わえる「BIG サンセット ディナークルーズ」。

グアム伝統の「チャモロ料理」に加え、船上グリルで調理し、焼き立ての美味しい状態で楽しめるステーキとエビが大好評。さらに、ドルフィンウォッチングも楽しめる。あつて、お得なツアーだ。

ビールやワイン、ソフトドリンクなどは飲み放題。底釣り体験もできる。50名以上の料金で貸切が可能。最大65



名まで収容できるので、船上での打ち上げパーティーなど、オリジナリティーあふれる団体旅行向けプランにピッタリだ。2階デッキ席を予約できる「VIPプラン」は、毎晩2グループ限定(1グループ2~4名)で特に人気。ツアーはドルフィンによく出会えるサンセットの時間に合わせて変更するので、送迎時間は確認のこと。



「ザ・ビーチ」レストラン&バー

<https://bestguamtours.jp/bars-clubs/beach-bar-grill/>

収容人数 200名

タモン湾に沈む夕日は必見! パーティーにもぴったり

ホテル・ニッコー・グアムの横に位置するタモン地区最大のビーチ・バー。約200名収容可能なパーティエリアを用意し、ビーチパーティーやコンサート、ウェディングの後のパーティーなどに対応できる。

右に恋人岬、左にタモン湾を望む絶好のロケーションは、グアム最高のビューポイント。昼も夜もチャモロテイストの料理やトロピカルカクテルなど、南の島らしい美味しい料理が味わえる。地元からの人気も高く、ここから眺める夕日は実に美しい。

現在、週替わりでスペシャルプロモーションを実施。また、毎週木曜日はレ



ディースナイトを開催しており、午後9時以降は女性にはフリードリンクを用意している。

夜には毎日ライブDJが入り、ナイトタイムを盛り上げる。営業は深夜24時(料理のラストオーダーは営業終了30分前。毎週木曜日は20:45まで)。グアムの最高な夜を楽しむ。



「タオタオ・タシ」ビーチディナーショー

<https://bestguamtours.jp/shows/taotao-tasi/>

収容人数 最大 1000名 (ショーエリア 600名)

グアム最大級のアイランドショー 「オン・ザ・ビーチ」の迫力ステージ!

グアムで唯一、「オン・ザ・ビーチ」に最新のステージ設備を構え、迫力あるアイランドショーを展開する「タオタオ・タシ」ビーチディナーショー。タモンエリア内にあり、どのホテルからも便利な立地で、その規模はグアム最大級だ。

ビュッフェスタイルで600名収容でき、隣接のバンケットエリアと合わせれば、800名規模のイベントやパーティーが可能だ。さらに同エリア内のレストラン&バーを加えれば、最大1000名収容可能なグアム最大級の「オン・ザ・ビーチ」のイベントスペースに。すべて屋根付きなので、急なスコールの際も安心、全天候型のイベント施設となる。

ディナーメニューは、ボリュームたっぷりの豪華食べ放題ビュッフェスタイル。目の前でシェフが焼き上げるBBQや

エビ、そして、伝統的なチャモロ料理をはじめ、前菜、サラダ、キッズに人気のメニューも用意し、ファミリーにも好評だ。

美しいタモン湾に沈みゆく幻想的なサンセットを背景にショーはスタートし、古代チャモロのパフォーマンスをはじめ、タヒチアン、フラなど太平洋エリアのダンス、また間近に迫るファイヤーダンスやナイフダンスなど、多彩なダンスショーが繰り広げられる。

海からわずか数メートルの舞台は、最新テクノロジーを取り入れた大掛かりなもの。グアムでも人気のエンターテインメント「サンドキャッスル」と同じグループの運営ならではの、質の高いステージパフォーマンスが楽しめる。

6歳未満の子供は無料のため、子供連れのファミリーも利用しやすい。



公共施設などのユニークベニューで 思い出に残る団体旅行のアレンジを

日本人グループにとって利用しやすいインフラが充実しているグアム。ホテルのバンケットルームやオプションツアーだけでなく、公共施設などのユニークベニューを活用したアレンジも実現可能。地元グアムのイベントではよく利用されているので、実績は豊富。これまでとは違った団体旅行の企画に、これらの施設を取り入れてみたら、きっと印象深い旅行になるだろう。



ガバナー ジョセフ フローレス メモリアル パーク (イパオビーチパーク) Governor Joseph Flores Memorial Park (Ypao Beach Park)

白い砂浜に椰子の木陰、そして恋人岬を遠方に見る事ができるグアムを代表するビーチレクリエーションエリア。エメラルドに輝く遠浅のリーフが美しいビーチに面した公園には、野外ホールをはじめ、トイレ・シャワー設備もあり、週末にはバーベキューを楽しむ人を多く見ることができる。また、コンサートなど各種イベントも行われ、島民に親しまれている。



スペイン広場 Plaza De España

グアムの首都ハガニア地区にあり、かつてグアムがスペインの統治下にあった時代に総督邸が置かれたところ。2014年1月に修復工事を終え、総督邸跡をはじめ、チョコレート・ハウス、聖母マリア大聖堂など、当時を彷彿とさせる姿に生まれ変わった。広場の中心に位置する「キオスコ」は現在も歴代グアム準州知事の就任式や公式行事に使用されている。



パセオ球場 Paseo Stadium

収容人数約2,000人、ナイター設備完備のグアム最大の野球場。読売巨人軍がグアムキャンプで使用していたことで知られているほか、グアムの軍関係者や民間企業、グアム大学などのチームで構成されたグアムメジャーリーグの本拠地でもある。球場のある「パセオ公園」は、バスケットボールコートやジョギングコースなど、グアム有数のスポーツ・エリアとしても有名。



グアム大学 University of Guam

マンガラオにあるミクロネシアで唯一の総合大学。1952年6月の創立で外国からの留学生も多く、国際色豊かな大学。フィールドハウス（体育館）は、ハイスクールの卒業行事やグアムの伝統的な踊りであるチャモロダンスの大会「ディナニャ・ミナゴフ大会」、島内から大勢の観客が集まる人気の総合格闘技「PXC (Pacific Xtreme Combat)」の会場としても使われ、駐車スペースも十分に備えている。



デデドサッカー場 Dededo Sports Complex Soccer Field

2011年にグアムに誕生したサッカー場で、2つのフィールドとフットサルコート、ミニピッチやトレーニングセンターが併設されている。グラウンドの建設は、FIFAが推進するプロジェクト「ゴール・プログラム」の一環で行われたもので、FIFAが推奨する排水力のある人工芝を導入し、天候に左右されずにトレーニングやプレーできる環境を整えている。



恋人岬 Two Lovers Point

島の美しい自然に囲まれたグアム有数の観光スポットである恋人岬にオープンした屋外レストラン・バー「テラザ・アット・ドス・アマンテス」。オープンテラスからは、息を呑むほどの美しいタモン湾を一望できる。

貸し切りも可能で最大99名まで収容可能。飲物や食事のサービスにも対応できる。



グアムミュージアム Guam Museum

紀元前から続く古代チャモロ時代、16世紀初頭から300年以上続いたスペイン統治時代、そして1898年以降のアメリカ時代から現代まで、グアムのユニークな歴史と文化を伝えるミュージアム。

館内には、各種イベントを開催できるスペースが充実している。

団体旅行のモデルプラン

3泊4日で効率の良いプランを立てられるのは、充実のインフラとオプション、そして至便なアクセスを誇るグアムだけの強み。グアムはどのようなサイズ(参加人数)、興味、目的のお客様も満足できるデスティネーションだ。

基本モデルプラン(会議・講習会・研修会向け)

日程	プラン
1日目	日本各地からグアムへ 【各グループ】ホテルチェックイン 到着後に全日程を確認、2日目以降の予定の準備 夕食 全体夕食会もしくは各自で夕食 ● ホテル内もしくはタモン、ハガニア地区のレストランで
2日目	朝 各自ホテル内で朝食 午前 全体会議 ● 午後 全体会議・分科会議 ●  会議場 夕方 全体夕食会 ●
3日目	朝 各自ホテルで朝食 午前 最終全体会議 ● 講習会及び研修会の場合は修了式を実施 午後 各自リフレッシュタイム オプションまたはショッピング 夕方 全体報告及び懇親夕食会 ● ホテル内もしくは貸し切り施設で  サンセットBBQ
4日目	朝 各自ホテルで朝食 ホテル出発前まで各自フリータイム グアム出発、日本へ帰国

こんなプランも



サンセットクルーズ



チャモロダンス

会議だけでなく、講習会及び研修会を組むことも可能



分科会議も



ゴルフも



オプションツアーも

各自フリータイムも(夕食含む)



フリータイムにナイトマーケットを散策

チームビルディングもおすすめ

グアムチャモロダンスショーもしくは食事後ショーを鑑賞



テーマパーティーで盛り上げてみては?



施設を貸し切り

大人数のグループならこんなプランも実現可能

300名~ 参加人数300名なら

300名以上の大きな団体でもグアムでは充分受け入れが可能だ。大人数のグループだからこそ、アレンジできるプランもさまざま。基本モデルプランをベースにこんなプランを取り入れてみては？

チームビルディング

- プライベートスポーツ施設
- 公共施設での運動会やスポーツ競技
- イパオビーチパークやビーチでのスポーツ大会
- ボランティア(清掃、植樹)など



合同夕食会(表彰式も含めて)

- ホテル施設およびショー会場
- ビーチ
- 施設貸し切りなど



800名~ 参加人数800名なら

大型会議、販売促進大会、周年記念などのイベントにもグアムは最適。グループごとに到着時間や到着日が異なるケースでも、全グループの集合日に大きなイベントを打つことで、結束力はさらに高まることだろう。

日程	Aグループ	日程	Bグループ
1日目	日本各地からグアムへ 【基本モデルプラン1日目と同様】	1日目	日本各地からグアムへ 【基本モデルプラン1日目と同様】
2日目	基本モデルプランをベースに、全体会議・分科会議、フリータイム/ツアータイムなど 全グループ集合日に 合同懇親夕食会 (感謝祭、記念行事、各種表彰式なども含めて) ●ホテル施設およびディナーシアター ●公共施設 ●ビーチ(島も含む) 施設貸し切り	2日目	基本モデルプランをベースに、全体会議・分科会議、または最終全体会議など 講習会、研修会の場合は修了式を実施 全グループ集合日に チームビルディング ●プライベートスポーツ施設 ●公共施設での運動会やスポーツ競技 ●イパオビーチパークやビーチでのスポーツ大会 ●ボランティア(清掃、植樹)など
3日目	基本モデルプランをベースに、全体会議・分科会議、または最終全体会議など 講習会、研修会の場合は修了式を実施	2日目	基本モデルプランをベースに、全体会議・分科会議、または最終全体会議など 講習会、研修会の場合は修了式を実施
4日目	グアム出発、日本へ帰国 【基本モデルプラン4日目と同様】	3日目	基本モデルプランをベースに、全体会議・分科会議、フリータイム/ツアータイムなど
		4日目	グアム出発、日本へ帰国 【基本モデルプラン4日目と同様】

絶好のロケーションのオールラウンドホテルがより便利に ホテル開業40周年を迎え、さらに進化

グアム中心部、タモン地区の中央に位置するグアムプラザリゾート。快適な滞在に加え、食べる、遊ぶ、買う楽しみがぎゅっと詰まったリゾートで、グアムでしたいことのほぼすべてを満たすことができる。今年40周年を迎えたグアムプラザは、旅行者の利便性を追求すべく、サービスやメニューがさらに進化。より魅力的になったグアムプラザの今を紹介しよう。

グアムプラザリゾート

利便性抜群の快適ホテル ホテル開業40周年

グアムプラザリゾートは、グアムでもにぎやかなタモン地区の中心部に位置している。どこへ行くにも便利なロケーションはグアム随一で、ビーチまで歩いて5分というアクセスの良さが大きな魅力だ。

客室はシンプルかつ落ち着いた雰囲気、特におしゃれで快適なデラックスルームが女性に人気。ホテル内に大型セレクトショップを擁し、多彩なレストランやカフェも展開している。中庭のプールやロビーフロアのコンビニも使い勝手がいいと評判だ。

このほど、セキュリティ万全の手荷物預かりサービスがスタートした。手荷物は専用ルームで保管され、チェックイン前とチェックアウト後も利用できるというから重宝しそう。リーズナブルでありながら細部まで行き届いたサービスにより磨きがかかっている。

JPスーパーストア

充実の買い物エリアにカフェを新設 「自然」をテーマとした改装終了

タモン地区で大きなセレクトショップといえばJPスーパーストアだろう。世界中を飛び回る目利きのバイヤーにより、人気のファッションやコスメをはじめ、キッチングッズ、ベビー&キッズ用品、海外メーカーのスイーツ、そしてグアムメイドなお土産などがずらりと揃う。総売り場面積は約5110㎡。ゆったりと買い物を楽しむことができる。自然をテーマとした店内のリノベーションを終え、巨大な木のオブジェがエスカレーター横にあり、明るい店内へと誘っている。

近年はマルニ、MM6やジル・サンダーなどのアパレルブランドが新登場。昨年12月には店内にホノルルコーヒーのカフェがオープンし、ショッピングの合間の休憩に大人気だ。



店内にホノルルコーヒーがオープン

ルーツヒルズグリルハウス

おすすめのセットメニューが登場

熟成肉の極上ステーキが味わえる店として人気のルーツヒルズグリルハウス。ランチには好評のプッフェメニュー(木～日曜)に加え、セットメニュー(月～水曜)が登場した。前菜、サラダ、メイン、デザートで、1つ1つ選ばずに済むのがポイントで、サンドイッチ、リゾット、パスタ、牛ポットローストなどのメニューが揃う。

セットメニューはディナータイムにも用意されており、ステーキやシーフードが人気。新設のワインセラーから料理に合わせたワインを選び、そのマリアージュを心ゆくまで楽しみたい。



ワインとのペアリングも楽しい人気のセットメニュー

セイルズバーベキュー

夕日を望むオン・ザ・ビーチで

ホテルからビーチへ向かって徒歩5分のセイルズバーベキューは、グアムを代表するオン・ザ・ビーチのバーベキューレストラン。目の前にビーチを望む屋根付きのテラスでバーベキューを楽しみながら、刻々と沈む夕日を眺めることができる。

メニューはすべてセットメニュースタイルで、ステーキにロブスターやキングクラブ、オイスターなどのシーフードを組み合わせた多彩なメニューが用意されている。

隣接するナナズカフェもグアム滞在中に一度は訪れたいシーフードレストラン。復活したランチメニューでナナズならではの食体験を楽しみたい。



自分で焼くスタイルの体験型BBQ

40周年SNSキャンペーン
ルーツヒルズグリルハウスとナナズカフェの公式フェイスブックやインスタグラムアカウントを「フォロー&いいね」すると、抽選でお得な商品が当たる!

ロケーション抜群のホテル グアムプラザリゾート

グアム旅行をさらに快適に過ごせるようにレギュラーツインに加え、デラックスツイン&キング、リビングルームのあるスイートルームでの滞在がご選べいただけます。また宿泊者専用のジム施設も完備。

(671)646-7803-8
www.guamplaza.com
日本語公式 @guamplaza_jp

グアム最大のセレクトショップ JPスーパーストア

ファッション、ベビー&キッズ、ビューティー、雑貨、お土産まで幅広い品揃えはグアムでここだけ! 広々とした店内にはカフェも併設しているのでお買い物の合間にリラックスできます。

(671)646-7887
www.jpshoppingguam.com
日本語公式Instagram @jpsuperstore_guam

Hafa Adai!

UNIQUE FUN FABULOUS

極上のステーキとワインを堪能 ルーツヒルズグリルハウス

熟成されたエイジングビーフを使用したトマホークが人気。ワインのセレクションも豊富に取り揃えており、お好みのワインをお食事にあわせてお選びいただけます。

(671)649-7760 / (671)647-1976
www.rootzguam.com



ビーチの真横でBBQ!

砂浜に張り出したテラスで最高のサンセットを眺めながら自分スタイルで焼く体験型のセイルズバーベキューはグアムで一番人気のスポットです。

1回目 6pm-7:30pm / 2回目 7:45pm-9:45pm
*サラダバー&ドリンク飲み放題付

(671)649-6262 / 6264
www.sailsbbqguam.com



3年ぶりの海外旅行はやっぱりグアム ~今年の夏のグアム家族旅行体験記~

久しぶりの家族海外旅行 選んだのは行き慣れたグアム

世界的な新型コロナウイルス感染症による様々な規制が緩和したため、今夏は、家族で海外旅行へ行くことにした。以前は毎年のように海外へ旅行していたが、3年ぶりの海外は、様々な状況が異なっていた。日本を含む各国の感染症に関する対策が異なり、主に入出国時に必要な書類が異なるうえ、急激な不安の影響も気になるところ。そのため久しぶりの海外旅行は、何度か行ったことのあるグアムに決定した。飛行時間は3時間ちょっとで、自宅から現地ホテルまででも12時間はかからない。日本からのアクセスが良く、そのうえ危険を感じる場所が少なく、感染症への対応以外については、ある程度の予想が立てやすい。グアムは、不安や心配に感じる事が少ないうえ、もし何かがあってもリカバリーできそうな、行き慣れた場所だ。

昼過ぎに自宅を出て、夜の21時半にグアムの空港に着陸。ほかの国からの便がかぶることもなく、ほとんど待ち時間もなく22時には入国。そのままレンタカーのデスクへ行き、あらかじめ予約していた車を借りた。空港から外へ出た時の、ムシっとした空気が懐かしい。



小学生低学年の息子は、機内で少し眠っていたのと、久しぶりの海外ということで、テンションが高い。車でホテル・ニッコー・グアムへ行き、すんなりとチェックインを済ませる。シャワーを浴びてベッドへ潜り込んだのは、24時前だ。

グアムのプールは 子供も大人も安心して楽しめる



目が覚めると窓の外には青い海と空が

広い窓いっぱい広がる、青い海と空を見ながら目覚めた。昨夜は遅かったのに、息子がカーテンを開け放ってはしゃいでいる。ベランダから見たウォータースライダーのあるプールにワクワクし、「プールで泳ぎたい!」と言う。そんな息子を説得して、まずはビュフェスタイルの朝食会場へ出かけた。会場の窓は、床から天井までガラス張り、柱や目立つ継ぎ目もなく、外の光がこれでもかと思ってくる。そんな中で食べる朝食は格別。用意されている食事は、洋食中心だが、日本人や韓国人を意識したメニューも揃っていて、大人はもちろん子供も美味しくそれに頼っていた。

朝食会場を出ると、プールからは騒ぐ人の声が聞こえてきた。部屋へ戻って準備を整えて、さっそくプールへ急ぐ。プールサイドでは、タオルのほか浮き輪なども借りられる。1つのプールに、小学生が立てるくらいの浅い場所から大人でも足のつかない2メートル以上の深さがありそうなエリアまであり、泳ぎを覚え始めた息子が泳ぎ回っていた。グアム



グアムのプールは必ずライフセーバーがいて安心のプールには必ずライフセーバーがいるので、安心して子供も親も楽しめる。

ウォータースライダーも、息子を興奮させるのに十分なアトラクション。その長さは圧巻の72メートル。はじめこそ、長いスライダーを目の前にして「怖いなあ」と怖気づきそうになったものの、一度滑ると、もう終わらなくなる。何度も何度も滑ってはスタート地点へ上っていき、また滑って……をエンドレスで続けた。

シュノーケリングの楽しさを イパオビーチパークで満喫

そうしてプールで過ごしてから、部屋に戻って一休み。レストランでランチを食べてから、同じタモン湾にあるイパオ・ビーチのエリアへ車で行ってみた。グアムの主要な観光ホテルが立つタモン湾は、どこも遠浅のため、特に子供とビーチを楽しむのに最高のエリア。イパオ・ビーチも遠浅ではあるが、足のつかない場所もあって、シュノーケリングで魚が泳ぐ姿が存分に見られる好スポットだ。海の中を見ると、陽光がきらきらと差し込んでいいる中を、様々な色の魚が行き来している。ディズニー映画のような海が広がっていると言うと大げさかもしれないが、カクレクマノミの姿だけ見られる。

そうして30分くらい泳いでからはビーチに上がって休憩し、また息子に誘われて海の中を泳ぎ、またビーチで休むというのを繰り返す。ここは、休日には地元の人たちが、家族や仲間とBBQパーティを繰り広げている。とにかく陽気な、「海外」の雰囲気が楽しめるのも、イパオ・ビーチの魅力だ。

シュノーケリングを楽しんだ後は、ビーチ近くのアパレルショップを眺めつつ、夕方にはホテルへ戻って休憩。ベッドに横たわり窓の方に顔を向ければ、相変わらず青い空が広がり、気持ちのいい海風がカーテンを揺らしている……ああ! ビーチリゾートに来ている! という気持ち良さなのだ。



アメリカならではの買い物も楽しみの一つ

ナイトライフも満喫 グアム最新のショーを見る

夕飯を軽めに済ませて、夜は「サンドキャッスル」という劇場へ、「Karera(カレラ)」というショーを観に行った。「太平洋の島への旅の物語」をテーマに、グアム文化を採り入れたストーリーのミュージカル。ショーを観ると、さすがエンターテインメントの国、アメリカだなと思わされる。面白いシーンでは、子供はもちろん大人もゲラゲラと腹を抱えて全力で笑うので、こちらもつられて声を出して笑ってしまう。ショーが終わって、みんなが笑顔でシアターを後にするのが、本当に印象的。ストーリー構成やパフォーマンスのクオリティが高いのはもちろん、そう



大人も子供も大興奮の「KARERA」したアメリカの観劇文化に触れられる場所としても「SandCastle(サンドキャッスル)」はおすすめだ。

以上が我が家の一般的なグアムでの過ごし方。あとはランチ後やビーチで泳いだ後にカフェで過ごしたり、買い物をしたり、夜にはレストランで食事したりする。コロナ禍で店が減ったかもしれないと思っていたが、来てみると、知っている店で閉店してしまった場所はほとんどなかった。さらに今回の旅行では、新しいショップやカフェへ行ってみた。

ローカルブランドやカフェ 気ままに過ごせる場所

また行きたいと思ったカフェは、タモン湾の各ホテルからも歩いていけそうな「Cafe Gudcha(カフェグッチャ)」。木材が多用された店内は、様々なテーブルやスツール、ソファ、またはハンモックがあり、ゆったりとした時間を過ごせる店だった。またタモン湾から30分ほど車を走らせたところにある、チャモロビレッジの周辺は、美味しいレストランや過ごしやすいくカフェの密集エリア。その中で、ビールを店内で醸造している「Carabao Brewing」も良かった。以前は別の店だったが、元のバーの雰囲気を残しつつ、地ビールの店としてリニューアルした。ランチに利用したが、多彩なビールから選べるのが楽しい。またハンバーガーなどの食事も絶品だ。もっと気軽に食事を楽しみたい時には、「California PIZZA KITCHEN」などファミレスもあ



ゆったりと過ごせる「Cafe Gudcha(カフェグッチャ)」

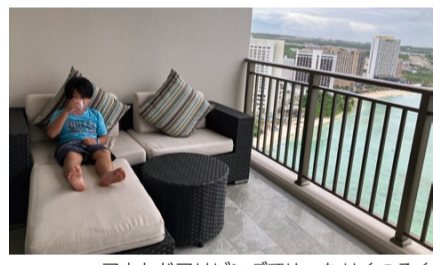


グアムの地ビールが楽しめる「Carabao Brewing」

るし、日本で言えばお弁当屋さんのような「Heavy Hitters」も気軽に食べられるうえに美味しい。その「Heavy Hitters」の近くには、地元のアパレルブランド「FOKAI(ファッカイ)」がある。グアムらしいデザインのものも多く、今回はTシャツを1枚購入。グアムには他にも、スポーツブランド「Run Guam(ラングアム)」などのローカルブランドがあり、日本に帰ってからも実用的な、グアム土産としておすすめだ。

ホテルでの時間を大切にしたいくなる ラグジュアリーなホテル

ホテル・ニッコー・グアムに隣接する、ザツパキタワーにも1泊した。玄関に一歩足を踏み入れた時から、落ち着いた雰囲気のインテリアで、最上級のサービスが受けられる。宿泊した部屋は、リビングとベッドルームが別れているスイートルーム。足元から頭上までの高さのあるテラス戸のカーテンを開くと、海とタモン湾に並ぶホテルを眺めることができる。そのままバルコニーに出ると、アウトドア用のソファやローテーブルがあり、「アウトドリビングルーム」と呼ぶのにふさわしい空間が広がり、海風に当たりながら夜景を楽しむこともできる。



アウトドリビングでゆったりくつろぐ



クラブラウンジでアフタヌーンティーやカクテルも満喫旅行へ行くと、どこか外へ出かけたいものだが、ザツパキタワーでは、ホテルでの時間を大切にしたい。朝食はビュフェスタイルだが、隣接する席との間隔が広くとられ、ゆったりと食事できる。その後は、子供とプールへ行くのも良かった。

海を眺めながら泳げる30メートルのインフィニティプールは、夜の11時まで利用可能。夜になると噴水ショーが始まり、プールサイドにあるバーで過ごすも良さそうだ。また、朝やランチ後やディナー前の時間には、クラブルームやスイートルームの宿泊者が使える、26階のリナラクラブラウンジで過ごす時間も格別。ザツパキタワーは、ラグジュアリーな時間を過ごすのに最適なホテルだった。

これまで何度も行っているグアムだが、レンタカーを借りて島内を巡ると、タモン湾沿いとはまた全く異なる景色が広がっている。島と言うと「狭い」というイメージを持ちがちだが、様々な表情を見せてくれるのだ。次に行く時には、どんな過ごし方をして、どこへ巡ろうかと考えるのも、グアム旅行の楽しみ方の1つだろう。

グアム随一のラグジュアリーホテル 「ゆったり過ごす」というグアムステイの新たな提案

タモン湾の高台に位置し、エレガントさと快適さを兼ね備えたラグジュアリーホテルのザ ツバキ タワー。全室からターコイズブルーの太平洋を一望でき、広い客室とプライベートバルコニーは、2020年7月の開業以来、多くのゲストを魅了してきた。「ゆったり過ごす」というグアムステイの新たな提案として、あらためて注目を集めている。

グアムで最新・最高級の ラグジュアリーホテル

ザ ツバキ タワーは、2020年7月に開業したグアムで最も新しい最高級のラグジュアリーホテル。グアム国際空港からは車で10～15分。タモンエリア中心部までも徒歩圏内という抜群のロケーションにある。グアムのリピーターにとっても、新しいロケーションから眺めるタモン湾の景色は新鮮に映るはずだ。アクティビティ三昧のグアムステイというよりも、優雅でゆったりとしたリゾートステイを楽しみたい層にぴったりのホテルと言える。

3～26階の客室総数は340で、全客室からターコイズブルーの海を一望できる。特筆すべきは客室の広さだ。最もスタンダードなカテゴリーの客室「カメラアルーム」でも、総面積が58㎡(客室45㎡、バルコニー13㎡)とグアム最大級の広さを誇る。どの客室にもシモンズ製ベッドやダブルシンクを完備し、快適に滞在できる。「アウトドアリビング」と呼ばれる広いバルコニーでは、タモン湾の絶景を眺めながらの朝食「バルコニーブレックファースト」も提供。19～26階の客室は「カメラクラブルーム」というカテゴリーに位置付けられ、VIP特典として26階のクラブラウンジを利用できる。このクラブラウンジでは、朝食、アフタヌーンティー、ハッピーアワーを楽しむこと



朝食、アフタヌーンティー、ハッピーアワーが楽しめる「クラブラウンジ」

ができ、ゆとりのあるスペースでくつろぎの時間を過ごすことができる。

ザ ツバキ タワーは、レストランやバーも充実している。ロビー階にあるビュッフェレストランの「カサ オセアノ」は、高品質の食材を使用した多彩なメニューを朝・昼・晩で楽しめる。最上階の「ミラノグリル-ラ ステラ-」は、エレガントな雰囲気の中で洗練されたイタリア料理を提供する。同じく最上階のメインバー「ラ カンティーナ」は、太平洋の素晴らしい景色を眺めながら、特別なワインセレクションに特化したドリンクメニューを堪能できる。



最上階の「ミラノグリル-ラ ステラ-」

ホテル1階にある30mのインフィニティプールは、海に溶け込むように美しくデザインされている。プールサイドにある「ヌバー」では、穏やかな日陰でリラックスしながらドリンクを楽しめる。他にも、朝はモーニングヨガを体験したり、夜にはグアム最大級の噴水ショーを見たりできる。ビーチで遊びたい人には、姉妹ホテルであるホテル・ニッコー・グアムの目の前にあるプライベート感あふれる「ガンビーチ」へのシャトルバスサービスも提供している。

報奨旅行など 団体客にとって高い利便性

ザ ツバキ タワーは、団体客にとっても高い利便性を誇る。特に数十人程度の小規模団体の報奨旅行などの利用に特別なラグジュアリーな滞在を提供する。また、企業の役員だけがザ ツバキ タワーに宿泊する、という使い方も、団体セールス時の新しい提案となり得る。

団体客にとっての高い利便性は、バスが到着するときから始まる。個人の宿泊客とは動線を分離し、団体客は専用入り口で降車すると、ホテル最大のファンクションスペース「カメラファンクションルーム」に直行する。そこでブリーフィングを受け、ルームキーを受け取ってそのまま客室に向かうことができる。グループ用のツアーデスクもファンクションルームとエレベーターの間に設置可能だ。

パーティーも多岐にわたる選択肢がある。最も魅力的なのが、屋外にある芝生のイベント広場「ザ プラザ」だ。着席で150人、立食なら200人まで収容可能だが、圧迫感なくグアムの風を楽しむには40～60人が最適だ。万が一、雨が降った場合には、大型キャノピーも設置できる。また、ザ プラザはカメラファンクションルームとつなげて屋内外のパーティ会場として使用することもできる。カメラファンクションルームは、着席で160人、立食で200人が収容可能。両会場ともに、最新の音響設備やスクリーン、照明機器を完備している。

団体向けのおすすめのオプションの1つが、最上階にあるメインバー「ラ カンティーナ」。二次会の会場として貸し切りにできる。100人まで収容でき、欧米スタイルのエlegantなカクテルパーティーを楽しめる。他にも大小さまざまな個室があるため、上級職のミーティングや小規模グループのパーティーで利用することが可能だ。



貸し切り利用もできるメインバー「ラ カンティーナ」

グアムのザ ツバキ タワーでは、X(旧ツイッター)で最新情報を提供中。ぜひフォローを!
<https://twitter.com/thetsubakitower>

ENJOY LUXURY IN PARADISE

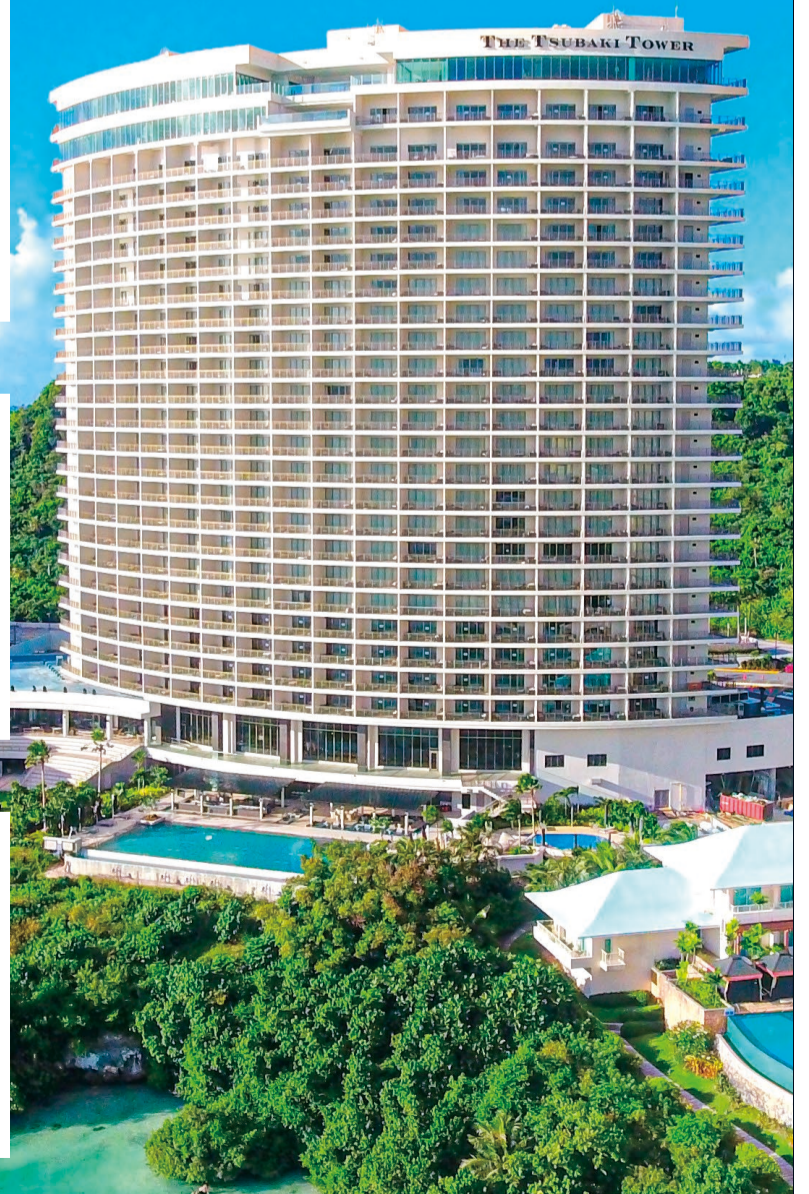
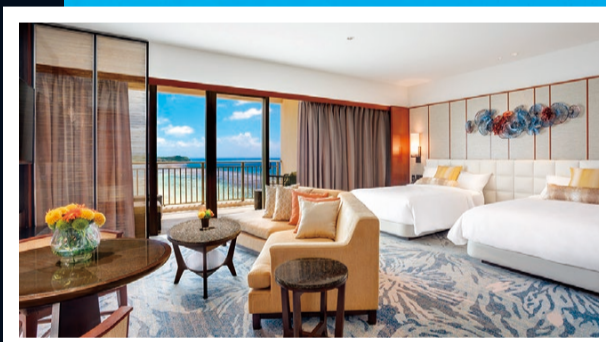


THE
TSUBAKI
TOWER

241 GUN BEACH
ROAD, TUMON
GUAM 96913
TEL: 671-969-5200



@thetsubakitower



グアム「最新情報」

Hot Topics

グアムの各企業では施設の新規オープンやリニューアルなどが進み、新たなグアムの魅力が加わっている。現地のホットなニュースをお届けする。

ホテルの新規オープンやリニューアル

コロナ禍の2020年7月に新規開業したのが「ザ ツバキ タワー」。グアムのラグジュアリー需要を牽引するホテルとして、新しいグアムでの滞在スタイルを提案する。また、「クラウンプラザリゾートグアム」は、かつてのフィエスタリゾートグアムが全面リニューアルしたもの。そして旧オンワードビーチリゾートは「星野リゾート リゾナーレグアム」に、旧シェラトンは「リーガロイヤル・ラグーナ・グアム・リゾート」に生まれ変わっている。「ホテル タノ グアム」はかつて「ホリデイ プラザ ホテル」が生まれ変わり現在はソフトオープン。今年末にブランドオープンを迎える。



クラウンプラザリゾートグアム



ホテル タノ グアム

さらに旧アウトリガーは「デュシットビーチリゾートグアム」として客室や各施設を一新。デュシタニ グアム リゾートと旧ザ・プラザショッピングセンター、アンダーウォーターワールド一帯を「デュシットプレイス」とし、進化させていく。

生まれ変わったグアムの新しいリゾート施設、ぜひ一度足を運んで体験したい。

新エンターテインメント施設がオープン



「KARERA (カレラ)」



「ANEMOS (アネモス)」

サンドキャッスルが新しいショー「KARERA (カレラ)」が今年6月に満を持してオープン。総工費1200万ドル(約16億8千万)をかけて大々的にリノベーションを実施。最新テクノロジーを搭載したシアターで、ダイナミックなショーを展開する。また併設するクラブは「ZOH」としてリニューアルオープン。隣接するレストラン「ANEMOS (アネモス)」ではグアム初の本格地中海料理を提供。タモンの中心に最新スポットが登場し、街の雰囲気も変わった。

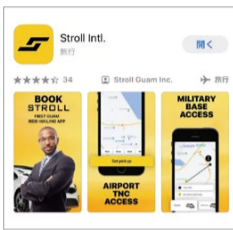
PICグアム内のパシフィックパビリオンで公演中である「スーパーアメリカンサーカス」は、オープンして約1年が経過。客席の目の前で繰り広げられるショーは迫力あるアクロバットとユーモアのあるピエロのなど、観客を虜にさせる興奮のサーカスを展開する。



「スーパーアメリカンサーカス」

「Stroll Guam」や電動キックボードなど新しい移動手段

観光客の便利な移動手段であるトロリーバスに加え、グアム滞在中に手軽に利用できるタクシー。日本のような流しのタクシーはないが、ホテルに常駐していたり、フロントや、レストランなどで呼んでもらい利用できる。最近ではグアム版Uberのような配車アプリ「Stroll Guam」が登場。英語が苦手でも、事前に行きたい場所をアプリで指定できるほか、料金も事前に提示されているので、不安なく利用できる。



配車アプリ「Stroll Guam」

また、グアムでは国際運転免許証を持っていないでも、21歳以上の日本の運転免許証を持っている人なら30日以内の利用が可能なので、より自由な旅を求める場合は、レンタカーがおすすめです。

さらに、日本でも最近見かけることが多くなった電動キックボードがグアムにも登場。ツバキ・タワー、ホテル・ニココー・グアム、PICなど、グアムのいくつかのホテルにステーションが設置されているので、新しい移動手段として注目だ。



電動キックボードがグアムに登場

グアムのオリジナルブランドやローカルフードのお店に注目

グアムSNSスポットとして有名なピンクのビル「タモントレードセンター」。その1階にオープンしたのが、グアムのチャモロ料理を提供する「ヘビーヒッターズ(Heavy Hitters)」だ。もともとはフードトラックで販売していたが、ローカルの間で人気となり、実店舗を構えた。ボリューム満点のBBQランチや、紫色のバンズを使った曜日限定のハンバーガーを提供する。



ヘビーヒッターズ (Heavy Hitters)

また、そのエリアにある「FOKAI」は、グアム発のオリジナルのアパレルショップ。Tシャツやパーカー、帽子やパンツなど、エッジの効いたデザインの商品を販売しているので、お土産にそして自分用の旅の記念にも最適。ほかにも「RUN GUAM」や「CROWNS」などグアムだけのオリジナル商品を展開するショップや、人気レストランのオリジナルロゴグッズなど、ローカルが展開するグアムメイドのオリジナル商品がおすすめです。



グアムのオリジナルブランド「FOKAI」と「RUN GUAM」

グアム現地の総合ツアーランドオペレーター

PIHはグアム観光のパイオニアKEIグループが運営しています



パシフィックアイランドホリデーズ



FITもグループも PIHにお任せください!

グアム国際空港内カウンター



常時日本語にてご対応します



PIHは世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)が定めている健康と衛生に関する世界基準の規定を採用しています。

TurtleTours オプショナルツアー



ラッテストーン公園



フォンテ川



定期市内観光



エコ・アドベンチャー ジャンгл・ハイキングツアー

会社概要

会社名: Pacific Island Holidays LLC (KEI GROUP)
HP: https://pihguam.com/
グループ企業
・クロップンバーグエンタープライズ(バス会社)
・タートルツアーズ(各種オプションツアー)

お問い合わせ先
日本総代理店: 株式会社トラベルギャラリー
TEL: 東京 03-6380-2375
大阪 06-6456-4122
E-mail: land@t-gallery.co.jp

FIT、各種パッケージ、家族旅行、ハネムーン、団体旅行など、あらゆる形態のツアーをプロデュース。1950年創業のバス会社Kloppenburg社を親会社に持つ強みを活かし、リクエストに応じたスムーズな手配をお約束いたします。日本の旅行会社様へは日本総代理店を通じ、募集型企画旅行、ユニット、ランドオンリーなどニーズに応じた形態で素材提供いたします。



ホテルやショッピング、レストラン、水族館を含む 総合リゾート施設“デュシットプレイス”へ進化



デュシタニ Guam リゾートとデュシットビーチリゾート Guam、そして旧ザ・プラザショッピングセンターを運営するデュシット Guam は、この3施設の相乗効果でデュシットブランドの強化を図ってきた。今後は2軒のホテルを核として、ショッピングエリア、レストラン、水族館が集まるこの一大エリアを「デュシットプレイス」として進化させていく。

旅を楽しむあらゆる要素を提供する “デュシットプレイス”に進化

デュシット Guam は2021年、ザ・プラザショッピングセンターを傘下に加え、名称を変更。その後、デュシタニ Guam リゾートとデュシットビーチリゾート Guam の2軒で1000室超のホテルとショッピングエリア、レストラン、水族館が集まる、旅を楽しむためのあらゆる要素を提供する一大エリアを「デュシットプレイス」とし、発展させることになった。

旧ザ・プラザショッピングセンターのショッピングエリアは、高級ブランドのショップを順次増やしていく。直近ではジバンシーやクロエのショップが開店し、 Guam におけるロレックスの独占販売店をデュシットプレイス内のより大きな場所に移転させる予定だ。

レストランエリアでは、SNS映えするフレンチスタイルのレストラン/カフェとして「ラプクレプス」がオープン。さらに、コロナ禍や台風の影響があったハードロックカフェもディナー営業を再開。カリフォルニア・ビザ・キッチンも依然として旅行者にも地元の人たちにも人気のレストランであり続けている。



ホテルのロビーラウンジではライブ演奏が楽しめる



水族館もデュシットの傘下となり生まれ変わるショッピングとレストランのエリアが着々と発展するなかで、2022年末には「アンダーウォーターワールド」の運営もデュシット Guam が手掛けることが決定。アンダーウォーターワールドは、タモンの街の中心にある水族館として、1999年の開業以来多くの旅行者に親しまれてきた。現在は営業しながら改装工事を進めており、工事の第一フェーズが2024年初頭に終了する予定だ。その時点で名称も「アクエリアム・オブ・ Guam 」に変更。全ての工事は2024年夏までに終了する計画で、リニューアル後は、目玉となる生物として大型のサメを米国本土から連れてくることと決定している。さらにバックヤードツアーも充実させ、インタラクティブな体験もできるようにし、子供たちが楽しみながら学べる施設へと生まれ変わる。

そのほか、デュシットプレイス内には、観光客をサポートする旅行代理店オフィス(Lea Leaラウンジ、JCBラウンジ)も完備。3~4日の Guam 旅行で、ここから1歩も外に出なくても Guam を満喫できる場所になることを目指していく計画だ。

開業から8年、部分的なリノベーションに着手 レストランで高評価が続くデュシタニ Guam リゾート



デュシットプレイスの核となるのが、2つのホテルだ。そのうちの1つであるデュシタニ Guam リゾートは、開業から丸8年が経過し、部分的なリノベーションと家具類の入れ替えを行っている。このうちロビーラウンジは家具類の入れ替えが完了。客室も家具類の入れ替えが終了しており、シャワー付きトイレも全館で日本のメーカーのものに入れ替えた。さらにミニバーも全室新しいものに交換した。

Guam 最大の面積を誇るグランドボールルームと、その次に大きなロイヤルボールルームには、最新の大型LEDスクリーンを導入。団体旅行でのパーティーやイベントが、鮮明な映像や画像を交えて実施できるようになっている。



Guam 最大の面積を誇るグランドボールルーム



タイ料理レストランの「SOI」ではメニューを刷新



プールサイドのカバナでもタシグリの料理を楽しむ

デュシタニ Guam リゾートのレストランは、依然として旅行者はもちろん地元の人にも人気だ。トリップアドバイザーの Guam のレストランランキングでは、デュシタニ Guam リゾートの4軒の全レストランがトップ5にランクインした。

このうちタイ料理レストランの「SOI」ではメニューを刷新。子供でも楽しめるメニューや、野菜がメインのビーガンヘルシーフードも用意している。ドリンク類は、SOIだけでなくホテル内すべてのレストランやバーのメニューをSOIでオーダーできるサービスも開始した。

ビーチフロントの「タシグリ」では、日中はプール利用者が賑わっている。プールサイドのカバナでもタシグリの料理を食べられる、ラグジュアリーなダイニング体験の提供も開始し、利用者から好評を得ている。

団体に強いデュシットビーチリゾート Guam 姉妹ホテルの強みを生かす



2020年7月にまったく新しいホテルとして生まれ変わったデュシットビーチリゾート Guam は、依然として団体旅行の人気の高い。今年9月以降は月を追うごとに団体の件数も規模も増えているという。

そのデュシットビーチリゾートとして新設したものの1つ「ビーチハウスグリルBBQ」。席数は130で、昼間はバーガー類などのアメリカンフードを提供し、夜は客が自ら焼くスタイルのBBQ会場として、個人客から団体客まで多くの人が楽しんでいる。特に団体客は30~50人が着席できるということもあり、2軒のホテルに宿泊する団体客の多くがビーチハウスグリルBBQを利用している。

もう1つの新しい施設が、タモンエリアで唯一のオン・ザ・ビーチ・バー「タブーティキバー」で、ミリタリーや地元の人たちで連日賑わっている。まさに「日本から一番近いアメリカ」を実感できる雰囲気でも、毎月最終土曜日にはバンドの生演奏が入ったのビーチパーティーが開



オープンエアの宴会場「デュシットテラス」はウェルカムパーティー会場としても最適



アメリカの雰囲気を実感できる「タブーティキバー」催されている。ホテル内の施設なので移動も安全なうえ、バーには警備員が常駐しており、女性だけでも安心して Guam らしいナイトライフを楽しめる。

デュシットプレイスに建つ2つのホテルの大きな強みは、どちらのホテルに宿泊しても双方のプールや施設を利用できるうえ、支払いも部屋付けにしてチェックアウト時に精算できる点だ。例えばデュシットビーチリゾート Guam に宿泊する場合でも、企業の幹部だけデュシタニ Guam リゾートのメインダイニング「アルフレドズ」で食事をするという提案も可能だ。団体の本体はデュシットビーチリゾートに宿泊し、幹部はデュシタニ Guam リゾートに宿泊するという利用方法もある。両ホテルの距離もロビーからロビーまで3~4分程度と近く、雨でも濡れずに移動できる。両ホテルを合わせれば大小さまざまなバンケットルームもある。1度の宿泊でホテル2軒分の施設から選んで利用するため、より一層団体旅行で利用しやすいホテルとなっている。

宿泊者のエンターテインメント体験を重視 従業員の質の高さを裏付ける充実した福利厚生

2つのホテルはもちろん、デュシットプレイス全体でエンターテインメントを重視する方向性が明確に示されている。その現れの1つが、「クラスター・ディレクター・オブ・エンターテインメント&プロモーション」という役職の新設だ。このポジションのミッションは、デュシットプレイスのコンセプトのもと、ホテル、レストラン、ショップ、水族館の全施設を俯瞰してエンターテインメントの方向性を決めていくことだ。このポジションには、アメリカ本土やハワイ、ドバイで長年ハイエンドホテルのエンターテインメントに携わってきた人材を登用。宿泊客に Guam らしい雰囲気を演出し、「とにかく楽しんでもらう」ことを最重要視している。

そしてデュシット Guam はこのほど、 Guam ・ビジネス・マガジン社が主催する「ベスト・カンパニー・トゥ・ワーク2023(2023年最も働きがいのある会社)」賞を受賞した。デュシット Guam は半年に1



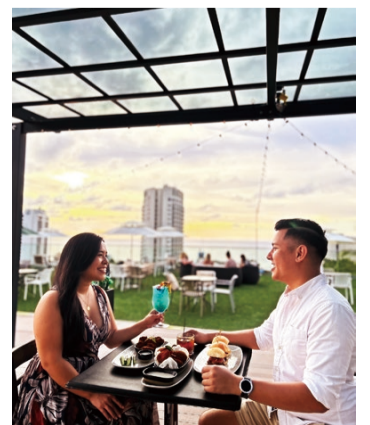
2023年の最も働きがいのある会社として
アワードを受賞

回、全社員が飲んで食べてリラックスする場を設けたり、気持ちよく仕事が始めるように朝食を提供したり、従業員に対する福利厚生を充実させている。働いている人が幸せでなければ宿泊客を幸せにできないという考え方により、モチベーションの高い従業員が提供する高品質のサービスにつながっている。

ベイビューホテルの料飲2施設がリニューアル 旅行者の利用増に本腰

2022年にデュシット Guam の運営となったベイビューホテルは、ルーフトップバーの「ザ・スカイ・バー」を、屋上にあるオープンエアのバーである点をさらにアピールするため、よりシンプルな名称の「ザ・スカイ」に変更。 Guam 唯一のルーフトップバーとして、地元の人で賑わっており、今後は旅行者の利用も増やしていく考えだ。

また、ステーキをメインとしたアメリカンレストラン「デル・モニコ」は、2023年第4四半期にリニューアルオープンする予定。新たなシェフのもと、新しいコンセプトとメニューでアップスケールして再オープンする。



Guam 唯一のルーフトップバー「ザ・スカイ」



Dusit Thani
GUAM · RESORT

DUSIT
PLACE

Dusit
BEACH RESORT
GUAM

TUMON BAY

